



整理収納アドバイザー 佐藤 江理子の

# 快適! 暮らしの 整理収納術

実践編

## Profile

1974年酒田市出身。酒田市内の住宅会社勤務を経て2008年に独立。現在酒田市ゆたかの森佐藤江理子建築工房代表取締役。二級建築士、インテリアコーディネーター、整理収納アドバイザー1級、住宅ローンアドバイザーの資格を持ち、お金のことから間取り・インテリアなど家づくりの全てを担当している。



vol.20



子ども  
部屋

## 感想編

本人が振り返る!  
理想に寄り添う片付けの工夫

佐藤江理子さんが読者の家を片付ける「実践編」は、本誌2017年8～10月号で「押し入れ」、同11月号～2018年1月号で「子ども部屋」が完結。依頼主の気持ちをくみ、どんな思いと工夫を込めて手掛けたのか。佐藤さん本人が振り返ります。



押し入れ

## 女子中学生の`趣味、と`学び、をしっかりと区分

依頼者は女子中学生。この片付けでは、ロフトの活用を鍵に部屋全体をかわいくまとめました。秘密基地をイメージした「趣味のロフト」は、幅2.5mの大型収納に本や人形を自由に飾れる遊びのスペース、勉強スペースと明確に分けました。この回は、今時の女子中学生にとっての子ども部屋のあり方を学ぶ、よい機会になりました。私がインテリアに興味を持ち出したのも中学生の頃。娘の気持ちをくんで片付けに協力してくれた依頼者のお母さんを素晴らしいと思いました。

## 生活習慣に合わせ、押し入れの奥まで有効活用

記念すべき企画第1弾です。依頼者は片付けに対する意識がとても高い女性でした。最初からキレイに押し入れを活用していたので、さらに便利で機能的にして納得してくれるように片付けないと!と燃えました。アパート住まいだったので、引越した先でも使える収納アイテムにこだわりつつ、押し入れの奥行きを活用する前後2列使いのレイアウトを提案。設計図も作りました。この片付けを通じて、それぞれの生活習慣に合わせた理想の整理収納を探す楽しさを再認識しました。